

東恩納組

東恩納 厚 会長



ひがしおんな・あつし 1956年那覇市生まれ。帝京大学医学部卒。琉大附属病院、与那原中央病院勤務を経て、94年東恩納胃腸科内科開業。2011年、父の意向で東恩納組経営に参画。16年に医院を閉じ、建設業経営に専念。

- ①『竜馬がゆく』 司馬遼太郎著 ②散歩
③ 三重城

創業の理念「千年の夢住宅」

―2017年を振り返って。

建設業界は好調でしたが、反面、各社とも人材不足に悩まされ、目の前の仕事も請け負えない状況でした。これがこの先2、3年は続くでしょう。やがて需要は減少し、厳しい向かい風を迎

えることは、予想し得ることです。今の時を漫然と過ごすのか、将来に向けて企業体質を強化するかの違いで、企業の未来が変わるものと考えます。

―御社の建築理念について。

「人を守り、心地よく、美しい建築

物を創る」というのが弊社の憲法ともいえる建築理念です。この建築理念に基づき、施主様に最良の建築物を提供するため、日夜精進しております。私は会社を任された6年前より、医師の仕事と2足のわらじを履きながら、経

あります。私の学ぶ姿を見て、若手も見習ってくれますね。うるさい会長と思われても、週3回は建設現場の巡回チェックを欠かしません。私は近代建築の3大巨匠の一人であるミース・ファン・デル・ローエの「神は細部に宿る」と

―企業の使命とは。

企業の本質は存続することであり、その役割は社会への貢献です。人や社会に必要とされ、役立たなければ、その存在理由を失います。そして、企業は社会の公器であり、役員であれ、一

時その企業の機能を果たす人材であることに変わりはなく、その責務は次世代を担う人を育て残してゆくことに尽きると思います。私は医師として人命に携わる中で、人の命のほかなさを見つめてきました。そのほかない人生の大切な時間を何に使うのか。そう考えたとき、人を育て、人を残すことこそが、私の命の使い方であると気付いたのです。以前は医療を通じて、今は建築を通じて人を育てることが、私のも

つとも大切な使命であると考えています。2年前からは高校生1人を対象に月額5万円の返済不要の給付型奨学金を発足しました。昨年度は2人、今年は3人と増員し、人材育成を通じて社会貢献したいと思っています。

―未来への抱負を。

弊社には「千年の夢住宅」というブランドがあります。それは千年先まで残る美しく堅固な住宅、建築物を意味します。これからも東恩納組は、父・東恩納政吉の創業の思いを守り継ぎ、「人に尽くし、自然とともに、社会のために」という企業理念の実現に尽力してまいります。私自身は常に新人の研修医の気持ちで学び続け、現場の質を高めることに力を注ぎ、そしていつかの日か「千年の夢住宅」を手がけたいと夢見ています。



株式会社 東恩納組

HIGASHIONNA.CO

～人につくし 自然とともに 社会のために～